

文学部
ONO Hiroshi
PROFILE
<b>職名</b> 文学部 歴史学科教授
<b>学歴</b> 京都大学大学院文学研究科 東洋史学専攻博士後期課程 単位取得後退学（1987）
<b>学位</b> 文学修士（京都大学、1984）
<b>所属学会</b> 東洋史研究会、日本イスラ ム協会、日本オリエント学 会、中央ユーラシア研究会、 内陸アジア史学会
<b>専門分野</b> 東洋史、イスラム時代テュ ルク民族史

# 小野 浩

**おの ひろし**

**研究課題1** ●イスラム時代テュルク民族に関する文献学的研究（テュルク民族、イスラム、文献学）

**研究課題2** ●ペルシア語、モンゴル語、テュルク語勅令書（farmān, yarlıg）の古文書学的研究（勅令書、古文書学）

## 業 績

**【著書】**

『慧超 往五天竺國傳研究』／京都大学人文科学研究所研究報告書、1992年3月、共著。

『岩波講座 世界歴史』11巻 中央ユーラシアの統合／「とこしえなる天の力のもとに」、岩波書店、1997年11月、共著。

**【論文】**

「‘Arznāmaにみえる ināqと boy nawkar—カラ・コユンル、アク・コユンルの側近集団」／『アジア・アフリカ言語文化研究』第35巻、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、1988年3月、単著。

「サドル（şadr）職の成立に関する史料—G.Herrmann, “Zur Entstehung des Şadr -Amtes” より」／『西南アジア研究』28号、京都大学文学部西南アジア研究会、1988年3月、単著。

「1989年の歴史学会 回顧と展望—西アジア・北アフリカ—イスラム時代—」／『史学雑誌』第99編第5号、東京大学文学部史学会、1990年5月、単著。

「とこしえの天の力のもとに—モンゴル時代発令文の冒頭定型句をめぐって—」／『京都橘女子大学研究紀要』第20号、1993年12月、単著。

「メフメトⅡ世の『ヤルリグ』—バシュケントの戦いに関する—史料—」／『京都橘女子大学研究紀要』第26号、2000年3月、単著。

「テムル朝アブー・サイードのアク・コユンル朝ウズン・ハサン宛てウイグル文字テュルク語書簡文書簡介」／『ポストモンゴル期におけるアジア諸帝国に関する総合的研究』、平成11年度～13年度科学研究費（基盤研究B）研究成果報告書、2002年3月、単著。

「テムル朝シャルフのウイグル文字テュルク語文書再読」／『中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と変容に関する歴史的研究』平成14～17年度科学研究費研究報告、2006年3月、共著。

「心の水を考える—イランの水信仰、イスラム以前と以後」／『シルクロードの水と緑はどこへ消えたか』、2006年6月、共著。

「ディルシャード・ハトンとその発令書—女性の出したファルマーン—」／『女性生活文化史研究』、平成16～19年度科学研究費助成金研究成果報告書、共著。

「ギヤースッディーン・ナッカーシュのティムール朝遣明使節行記録 全訳・註解—ハーフィズィ・アブルー『バイスングルの歴史精華』から—」／『ユーラシア中央域の歴史構図—13～15世紀の東西—』総合地球環境学研究所、2010年3月、共著。

「ディルシャード・ハトンとそのファルマーン—14世紀イランにおける女性の発令書—」／『女性歴史文化研究所紀要』第18号、2010年3月。

**【国内学会発表】**

「‘Arznāmaについて」／イスラム国家論研究会、(勸東洋文庫主催、1985年2月、単独。

「テムル・クトルグのヤルリグより—ジョチ・ウルスの命令書—」／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催、2004年2月、単独。

「HWDBRY=hüdäbüri ?—14～16世紀ペルシア語文献中の難解語—」／東洋史研究会大会、2007年11月、単独。

**【講演】**

「西アジアから見た日本」／公開セミナー「世界史の中の京都」(於：丸善河原町ギャラリー)、京都橘女子大学、1994年7月、単独。

**【フィールドワーク・制作等】**

「中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と変容に関する歴史学的研究」／ウズベキスタン共和国（タシュケント・サマルカンド・ブハラ・ファルガーナ）(2002.8.20～9.10)、2002年8月、共同。

モンゴル国遺跡調査／「元朝～明朝初期の言語接触に関する文献学的研究」(2010.8.10～8.17)、2010年8月、共同。

**【研究費】**

「イスラーム都市関係史料データベース化作業」／文部省科学研究費重点領域研究1（2年間）(現地調査期間’90.8.20～9.20)、1989年4月、共同。

「12—16世紀東方イスラーム世界の国家制度史研究」／文部省科学研究費奨励研究A、1991年4月、単独。

「トルコ・イスラム時代中央アジア文化の総合的研究」／文部省科学研究費総合研究A（3年間）、1995年4月、共同。

「ウズベク諸ハーン国に関する古文書の歴史的研究（ウズベキスタン共和国、ロシア）」／文部省科学研究費国際学術研究（1年間）(現地調査期間’97.8.26～9.17、’97.12.18～’98.1.8)、1997年4月、共同。

「ペルシア語古文書および文典集（インシャー作品）の文献学的研究」／(勸三島海雲記念財団 学術奨励金（平成10年度第36回）500千円（99年3月31日まで）、1998年4月、単独。

「ポストモンゴル期におけるアジア諸帝国に関する総合的研究」／文部省科学研究費基盤研究B（3年間）、1999年、共同。

「中央アジアにおけるムスリム・コミュニティの成立と変容に関する歴史学的研究（ウズベキスタン共和国）」／日本学術振興会科学研究費基盤研究(A)1、現地調査期間2002.8.20～9.10（2002.4.1～2005.3.31まで）、2002年4月、共同。

**【その他】**

<目録> 「羽田博士の略歴と主要著作」／『西南アジア研究』34号、京都大学文学部西南アジア研究会、1990年3月、単著。

<事典> 『イスラームの都市性』／「Ⅲ 都市の外部ネットワーク 遊牧民から見た都市イラン」、亜紀書房、1992年5月、共著。

<新刊紹介> 『日本における中東・イスラーム研究文献目録—1968～1988』／『史学雑誌』第101編第11号、東京大学文学部史学会、1992年11月、単著。

<事典> 『新イスラム事典』／「アク・コユンル」「カラ・コユンル」、平凡社、2002年3月、共著。

<事典> 『中央ユーラシアを知る事典』／「アミール」「ウルス」「オールド」「暦—イスラーム期の暦」「タムガ」「ハン」「ヤルルク」

<一般記事> 「インドへの道」「バーブル」「ニザールのイスマーイール派」／『シルクロード紀行』No.15、2006年1月、共著。